

## R6 上関町総合計画パブリックコメント一覧

No.	提出意見	対応
1	<p>○新婚者が町内で住居の購入または賃貸を行う場合に助成します。○祝い金等の新婚者を支援する取組を検討します。とあるが、新婚者の住居は助成ではなく、無償で提供しますとか祝い金は差上げますとか、思い切ったことを書いてほしい。</p>	<p>基本計画1-1(1)婚活・新婚者支援について、新婚者への住居の無償提供については、現時点で施策として実施できる見込みがありません。このため、本計画への記載が難しいことをご理解ください。ただし、移住者の増加のため思い切った支援が今後行えるよう、計画への施策内容を「○新婚者が住宅を取得しやすく、町内に住み続けるための環境構築や支援を行います。」に変更いたします。</p> <p>祝い金については「新婚時のみ」と一過性のものとせず、結婚・出産・子どもの入学・卒業・就職・帰郷など、人生のステージにあわせて支給することにより、町からの転出を防ぐことにつながる施策を検討中です。また、祝い金以外の新婚者を支援する取組を追加施策として加える、といった方向性も庁内で検討中あることから、この表現のままとさせていただきます。</p>
2	<p>町外からの定住者には住宅、漁船、漁業権、農地、軽トラック等町から提供しますので定住してください等の今までには無い対策をお願いしたい。</p>	<p>基本計画5-2(2)「○上関町に移住される方に対して支援します。」に対応する主な取組について、「移住支援金事業」を「移住支援事業」に変更して、幅広い支援策を検討していきます。</p>
3	<p>役場は上関町にとってマンパワーの宝庫で、今後の上関町には役場の職員の方々の力が必要。町内各地区の様々な活動に加わり、先頭に立ってやっていくというようなことを計画に書いていただけると良いかなと思う。</p>	<p>基本構想P.39《基本目標5》持続可能なまちづくりの内容に「住民が参画できる機会を創出し、住民と行政の協働による地域づくりを推進します。」を加えます。また、基本計画5-1(2)行政サービスの維持のところに「○地域住民と行政職員が協働して地域コミュニティの諸活動の維持に努めます。」と加えることとします。</p>

R6 上関町総合計画パブリックコメント一覧

No.	提出意見	対応
4	<p>柳井航路をやめてバスを増やした方が良い、というアンケート意見について、島で小売店をしている自分としては、仕入れに支障が出て非常に困る。が、利用客が少ないのもわかる。柳井航路は週2・3回にして室津航路の回数を増やし、その上でバスの本数を増やしてほしい。ヘルパー、業者、観光客にとって選択肢が増えると思う。</p>	<p>定期船いわいの航路については、議員をはじめ島民の皆様と協議を重ねながら、今後の方向性を決めていく必要があると認識しています。柳井航路をどうするか、室津発着を増便するのかなどのご意見を改めてお聞きすることになりますが、今回いただいたコメントについては、意見・提言としてお受けいたします。</p>
5	<p>目標人口について、令和32年に1,000人以上となっているが、目標だけでなく理想の人口は何人であるのかを掲げることが大切では。理想の人口を町民に尋ねてみては。</p>	<p>本計画策定に係る庁内策定委員会及び審議会においても、人口動向に関する意見が多く出され、様々な面から検討した結果を計画に記載しているところです。また、今後の企業誘致等が町の人口の増減に大きな影響を与えることもあることから、本計画策定時点で中長期的な目標人口を設定することが難しかったという事実もあります。このため、現時点の現実的な人口推計として、社会保障人口問題研究所の推計値をもとに施策の効果を加味した設定とさせていただいています。今後の町の人口減少は、町としての機能を維持していくことに非常に大きな課題であることを意識して行財政運営に努めていきます。</p>
6	<p>分校跡地の活用を。番所までバスが入れるようにして、陶芸やワークショップができるフリースペースがあれば、中学校の文化系の部活の場にもなる。四季を感じる花木が楽しめる遊歩道も整備を。畑や果樹園のある老人ホームと病院をセットにして、老人ホームに入ってから生きがいを感じられるように。バラバラにせず一箇所に集約を。</p>	<p>分校跡地の活用については、現時点で様々な意見が挙がっていることから、住民意見の集約や合意形成を行う場を設けていく必要があると考えています。また、本計画内の「健全な行財政運営」にも記載のとおり、公共施設の新設については関係者間で慎重に協議を重ねるとともに、中長期的な維持管理の面も含めて総合的に判断していきたいと思えます。したがって、現時点では意見・提言としてお受けいたします。</p>

## R6 上関町総合計画パブリックコメント一覧

No.	提出意見	対応
7	町民グラウンドの下に低予算でおしゃれなプレハブハウスを。体育館やテニスコートとセットで貸出し、合宿所としても使えるように。青年の家としても使えるのでは。	意見・提言としてお受けいたします。
8	小中一貫の学校をもっとアピールしてほしい。上関ならではの体験型教育が受けられる、田舎で小さなころから色々な体験ができ、のびのびと個性を育てる教育が受けられるというアピールを。	意見・提言としてお受けいたします。
9	自然環境の優れた上関町は、観光業がこれから伸びていく産業と思われる。しかし指標の目標値があまりにも控えめで、将来を担う基幹産業になることはできない。現状の倍増くらいを目標にしてはどうか。	基本計画4-1の観光の振興の指標に関して、これまでの入込客数や宿泊客数等の実績から算出した実現可能な数値を設定しています。目標値の達成に向けて現実に即した着実な取組を進めたいと考えています。
10	その目標を達成するために営業できなくなった宿泊施設を町が借り上げて若い人に経営してもらおうとか、町内に新店を出す店に助成金を出すとか、若い人が上関町にやってきて、あるいは帰ってきて新しいことにチャレンジしやすい環境を作してほしい。	基本構想P.36の重点方向2及びP.39基本目標4、また、基本計画4-2の産業の振興にも記載しているとおり、移住・定住と併せて起業への支援に力を入れることとしています。また、宿泊施設に限らず、新たな事業を行う方を応援する「起業支援補助」を令和5年度から創設しており、チャレンジしやすい環境づくりを進めています。営業できなくなった宿泊施設は町が借り上げるよりも、宿泊施設を借りて経営したいという方をマッチングさせることで、民間活力の活用や公平性という意味でより健全であると考えています。なお、このような移住・定住情報を網羅した特設サイトや、情報発信にも力を入れていけるように検討を進めます。

## R6 上関町総合計画パブリックコメント一覧

No.	提出意見	対応
11	企業誘致の項目に原子力発電所しか書かれていないが、他の企業誘致はしないのか？自然環境の良い上関町はリモートワークの適地であり、ネット環境も整えることができるので、大々的に企業誘致してはどうか。	企業誘致については、基本計画4-2(3)では様々な企業を対象とした誘致を行う中で、原子力発電所はあくまでそのひとつとして位置付けています。リモートワークについては基本計画5-2(2)に記載をされており、奨励金やサテライトオフィスの設置助成等を検討していく予定です。また、企業に対する情報発信も併せて行う必要があると認識しています。
12	原子力発電所や中間貯蔵の誘致には反対。万一の場合、被害は上関町周辺地域も含めて住むこともできなくなるほどの被害を受ける可能性があることは誰もが知っている。町が原発誘致を白紙撤回し、別の方法で町の再興を図ることを表明することで、町のイメージも変わり、全ての町民が新たな気持で一致団結して地域の発展に尽くせると考える。	上関町は、長年にわたって原子力発電所の誘致をもとにまちづくりを進めてきました。ただし、東日本大震災後、国もエネルギー政策の見直しを迫られたことから、原子力発電所の新規立地は凍結された状態となっています。これを受けて、過去に開催した地域ビジョン検討会において、原子力発電所に代わるまちづくりの施策について2年にわたり協議を行いました。明確な代替案は出されていません。このような状況にはありますが、町の方針として、現時点では原発誘致によるまちづくりを進めていくという方針には変わりがないところです。現在調査が進められている中間貯蔵施設については、適地かどうかの結果が出されてからになります。町民の意見を伺いながら判断を行っていくこととなります。